



持続可能な社会づくりのためのESG地域金融

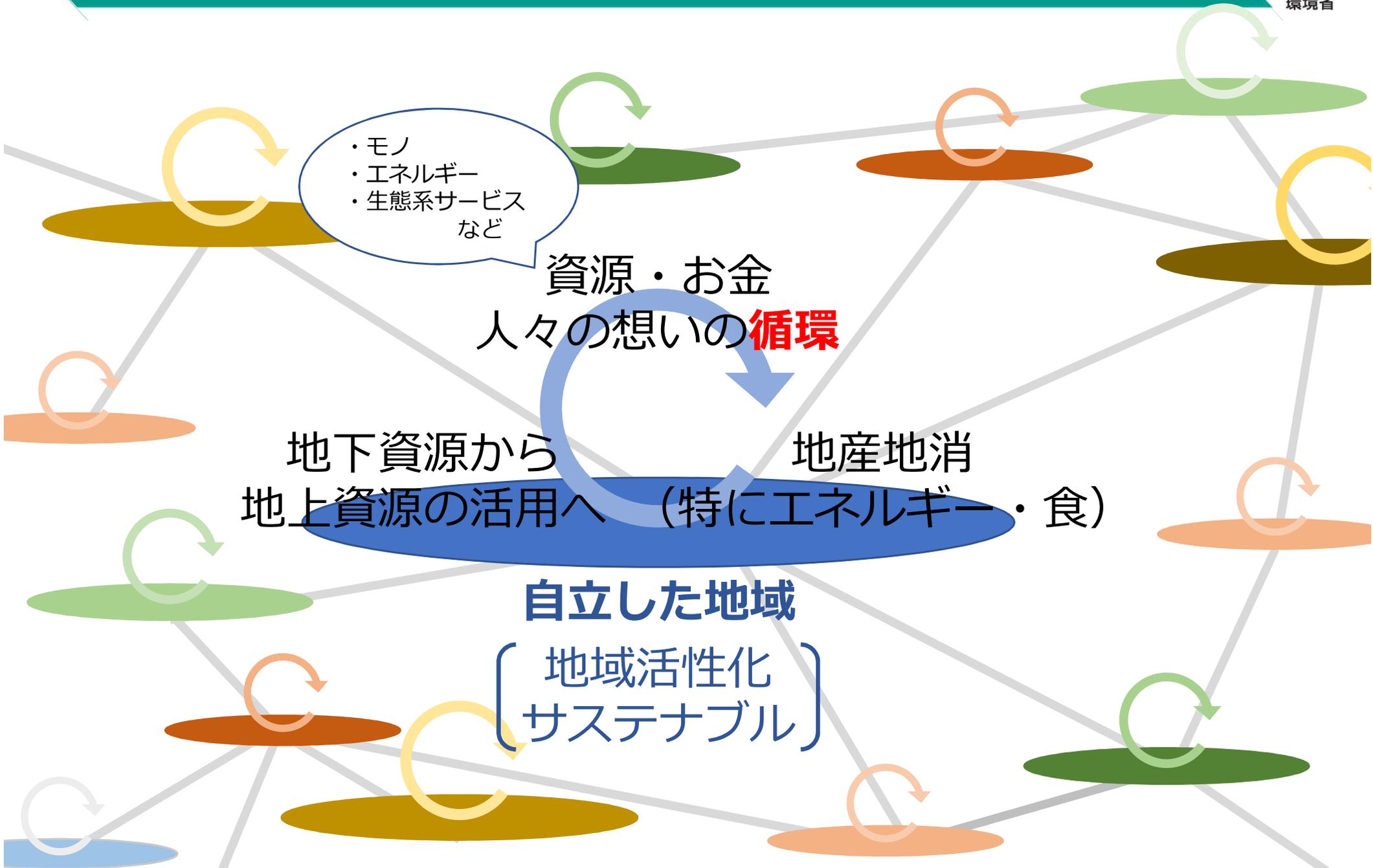
2020年8月26日
霞が関ダイアログ



一極集中・過密都市のリスク
グローバル化のリスク

問題の根底は、化石燃料に依存した
大量生産・大量消費型の
持続できない社会

今こそ、自立分散型社会へ！



支えあう**共生**のネットワーク・風土に根差した**地域の多様性**

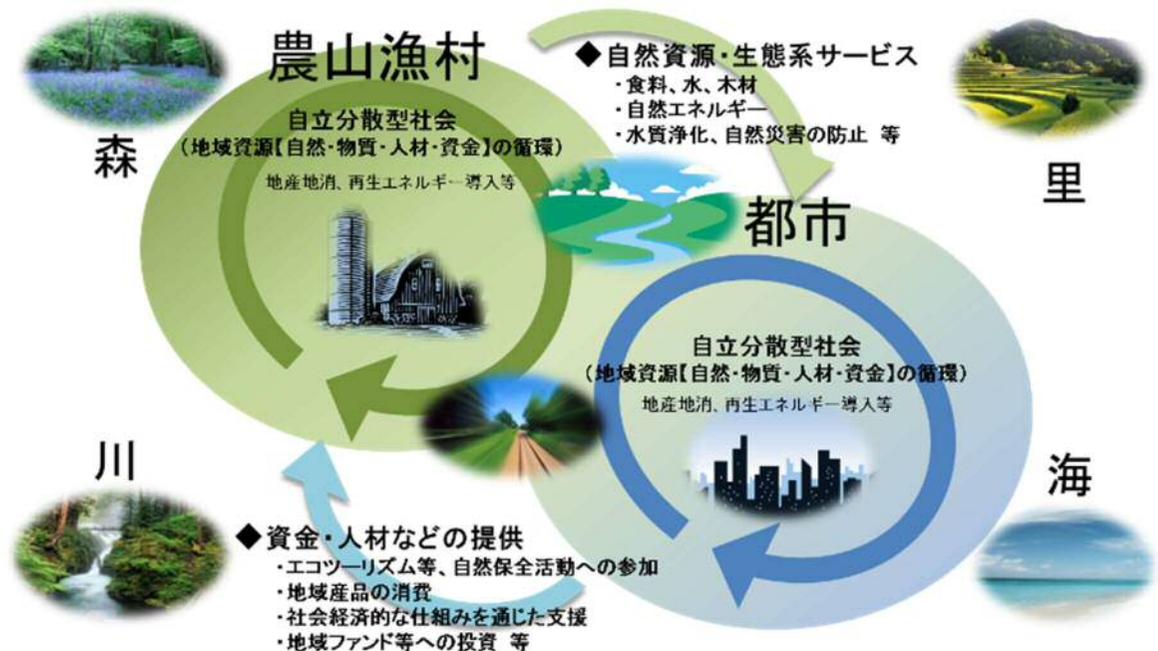
地域の活力が最大限に発揮されることを目指す

- 地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
- 地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

- ✓環境・経済・社会の統合的向上
- ✓あらゆる観点からイノベーションを創出
- ✓幅広いパートナーシップを充実・強化

地域の活性化
持続可能な地域

経済社会の
リデザイン=再設計



地域循環共生圏づくりのポイントは、

- 持続性を確保する
ローカルSDGsビジネス（雇用創出）
- 地域内での お金の循環
- 持続可能性の基盤 環境 = 脱炭素・資源循環・自然共生
- ビジョン共有 からの 統合的解決
- 地域の活性化の核・原動力となる
熱い人たち と そのネットワーク

- 間接金融中心の我が国において、金融機関に対して地域の持続可能性の向上や地域循環共生圏の創出に資するESG金融促進を図る支援を行う。主に以下3つの支援策を実施し、実施結果等を踏まえ、4月3日に公表した「ESG地域金融実践ガイド」を改訂

ESG金融の要素を考慮した経営の支援 ※11機関採択

- ✓ 有望なグリーンプロジェクト等の地域の市場調査、将来性・利益性の掘り起こし
- ✓ 支援先機関に対する案件組成支援等を通じた、ESG要素を考慮した事業性評価のプロセス構築等の検討支援
- ✓ 支援先機関内におけるESG金融取り組み促進へ向けた仕組みづくり

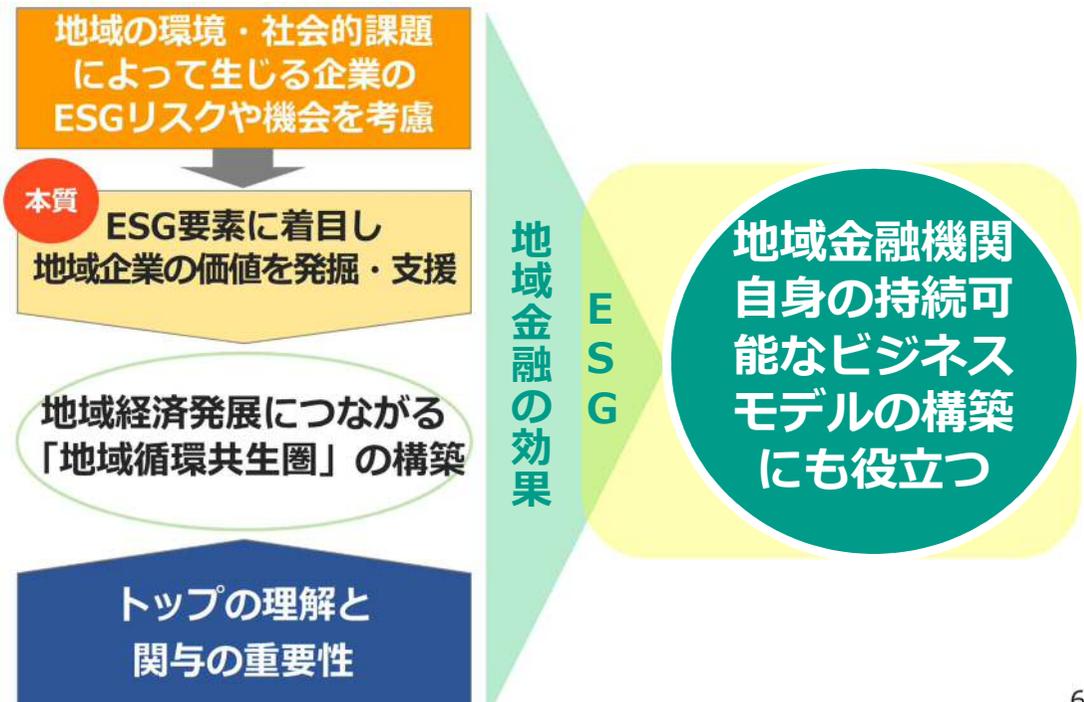
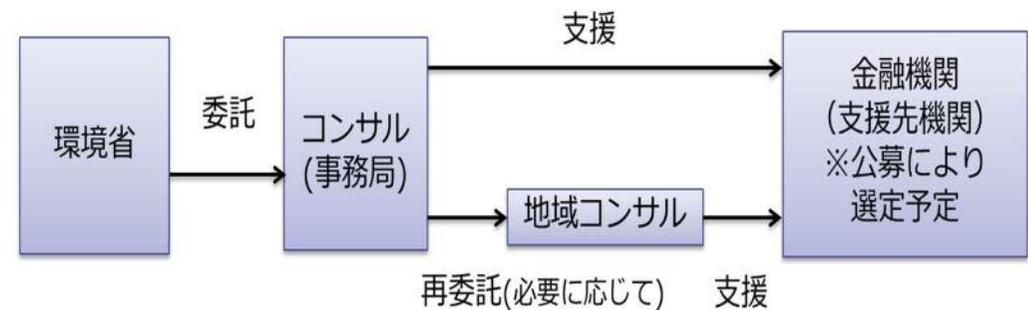
ESG地域金融の経営層ダイアログ

- ✓ 有識者と金融機関の経営層にて、ESG地域金融に関するダイアログを行う。

ESG地域金融勉強会の開催

- ✓ ESG地域金融の考え方及び実践方法等についての勉強会の開催。

事業イメージ



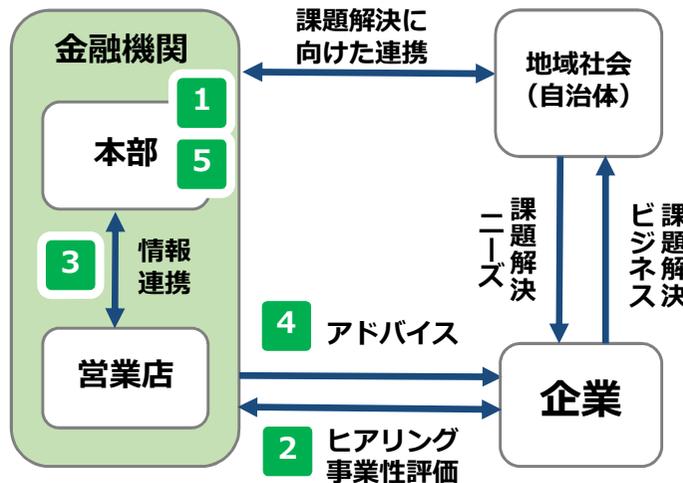
- 持続可能な社会・経済づくりに向け、地域金融機関には、地域の特性に応じた ESG要素を考慮した金融機関としての適切な知見の提供やファイナンス等の必要な支援が期待される（ESG金融懇談会提言抜粋）。
- 個別金融機関への案件構築支援等を通じて、金融機関がESG金融を実践していくための手引きとなる「ESG地域金融実践ガイド」を2020年4月に取りまとめた。

ESG地域金融実践ガイドの全体像

ESG地域金融の本質

- ✓ 地域資源・課題を把握し、ESG要素に起因する地域や企業への影響（ESGリスク・機会）を中長期的に見据える。
- ✓ この様な中長期的視点でESG要素に着目して企業を発掘し、課題・価値や地域のニーズを踏まえた事業性評価を行い、これに基づく融資・本業支援等を行うこと。

実践ガイドの内容



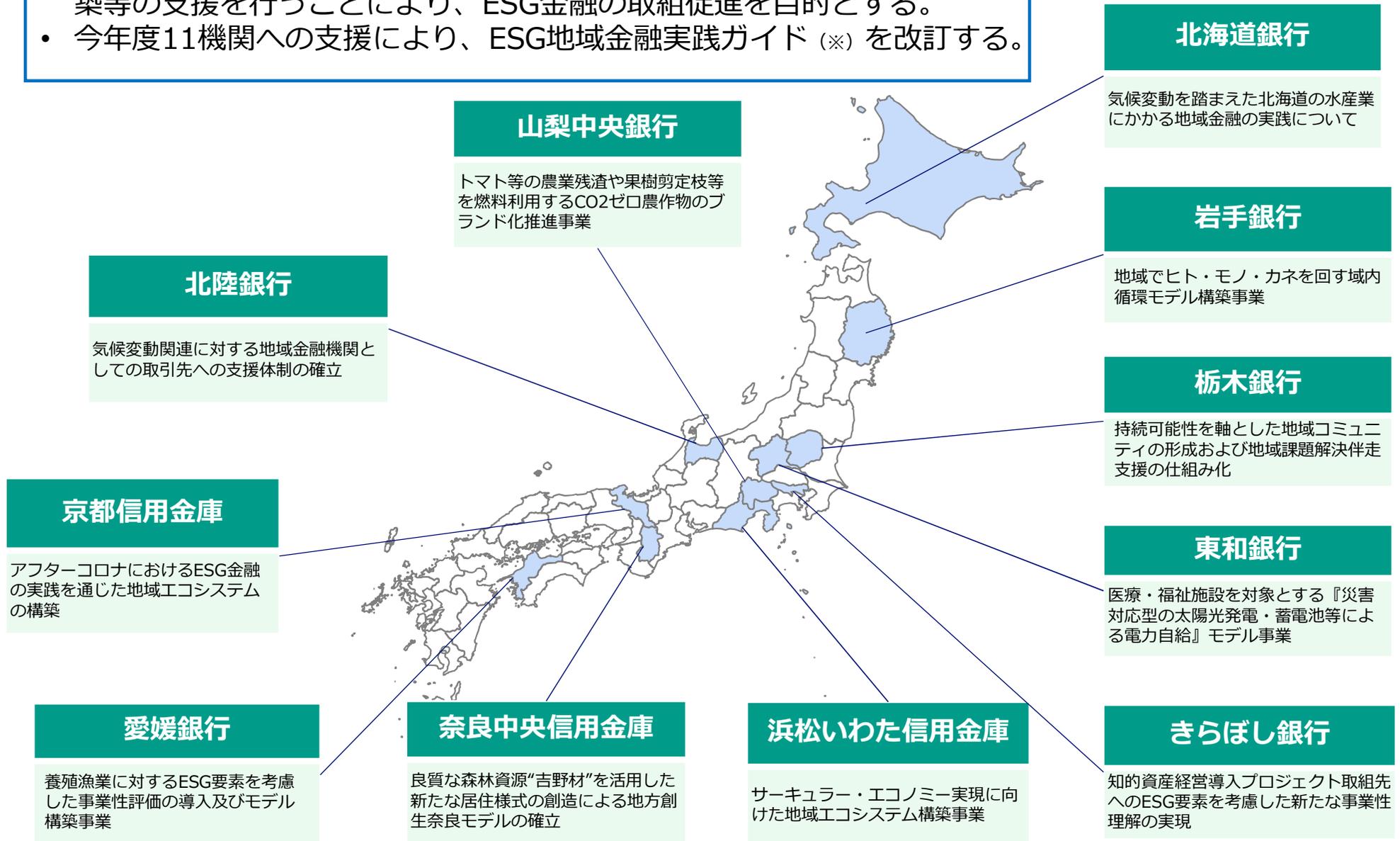
- 1 企業/案件と地域のESG要素を意識/想定
- 2 ESG要素に着目した企業/案件の課題と価値を発掘
- 3 本部と営業店でのESG情報の分析・整理と連携
- 4 ESG関連の課題解決・価値向上に向けたアドバイス
- 5 組織内における横展開

ESG地域金融の効果

- ✓ 地域循環共生圏を構築し、地域経済の持続可能な発展に貢献。
- ✓ 地域金融機関自身の持続可能なビジネスモデル構築にも役立つ。

令和2年度地域におけるESG金融促進事業委託業務 採択一覧

- 地域金融機関に対し、地域課題の解決や地域資源を活用したビジネス構築等の支援を行うことにより、ESG金融の取組促進を目的とする。
- 今年度11機関への支援により、ESG地域金融実践ガイド(※)を改訂する。



※ESG地域金融実践ガイド <https://www.env.go.jp/press/files/jp/113742.pdf>

令和2年度地域におけるESG金融促進事業委託業務 採択一覧



環境省

(五十音順)

金融機関	申請タイトル	概要
岩手銀行	地域でヒト・モノ・カネを回す域内循環モデル構築事業	再エネ事業の地産地消の取組を域内循環ビジネスとして県内に拡大させる事に対して、ESG金融に基づく支援を通じ、行内にESG金融の取組を浸透させる事を目的とする。
愛媛銀行	養殖漁業に対するESG要素を考慮した事業性評価の導入及びモデル構築事業	地場産業である養殖業のESG要素に着目し、事業性評価のモデルを構築し、また、行内のコンサルティング能力の強化を目的とする。
京都信用金庫	アフターコロナにおけるESG金融の実践を通じた地域エコシステムの構築事業	アフターコロナに適応した持続可能な地域経済を構築するための地域産業のESG評価や視点を調査し、伴走支援の深化を目的とする。
きらぼし銀行	知的資産経営導入プロジェクト取組先へのESG要素を考慮した新たな事業性理解の実現	既存の取引先との対話ツールにESG要素を組み込む事で、顧客の企業価値や事業リスク把握の仕組みづくり・支援を行う事を目的とする。
東和銀行	医療・福祉施設を対象とする『災害対応型の太陽光発電・蓄電池等による電力自給』モデル事業	当該モデル事業により行内の情報共有資料作成しESG要素を考慮した取組の理解促進、取引先への提案ツールの作成を目指す。
栃木銀行	持続可能性を軸とした地域コミュニティの形成および地域課題解決伴走支援の仕組み化	地元のステークホルダーとともに、自行をハブとしたネットワークを構築、活用し、ESG観点からの地域課題解決を検討していく。
奈良中央信用金庫	良質な森林資源“吉野材”を活用した新たな居住様式の創造による地方創生奈良モデルの確立	地域課題解決のため、地域資源の活用を行った持続可能な町づくりとESGを考慮した事業評価を通じて金庫内でのESG金融取組を促進する。
浜松いわた信用金庫	サーキュラー・エコノミー実現に向けた地域エコシステム構築事業	ESG要素に注目し、取引先による地域経済エコシステム構築の検討を通じて事業性評価の高度化が目的。
北陸銀行	気候変動関連に対する地域金融機関としての取引先への支援体制の確立	自行のポートフォリオで気候変動により影響を受ける分野を特定し、その分野における各リスクの把握と深掘りを行うことを通じて、取引先への支援体制確立を目指す。
北海道銀行	気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実践について	気候変動が水産業にもたらす影響を調査し、業界のサプライチェーンの影響を評価することなどを通じて、ビジネスの構築を可能とする知見・体制構築を目指す。
山梨中央銀行	トマト等の農業残渣や果樹剪定枝等を燃料利用するCO2ゼロ農作物のブランド化推進事業	生産過程で発生する農業残渣の活用による、循環型農業の推進を行う事を通じて、地域産業の課題解決についての知見を深め、行内のESG金融取組を推進する体制を構築する事を目的とする。